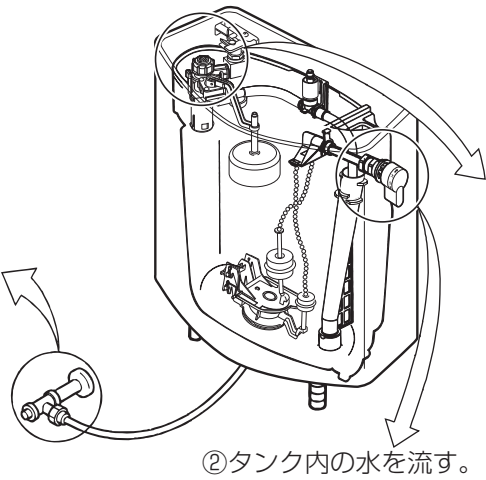
試運転後の確認事項

9 フィルターの掃除

①止水栓を閉める。

⚠注意

必ず実行

- **フィルター掃除前に必ずお読みいただき手順を守る**
  手順を守らないと水漏れするおそれがあります。
- **フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉めタンク内の水を流してから行う**
  水圧でフィルターが飛び出すことがあります。

②タンク内の水を流す。

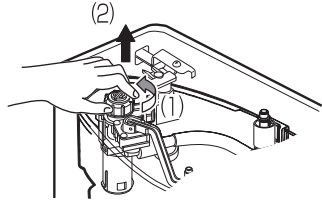
③タンクふたを外す。

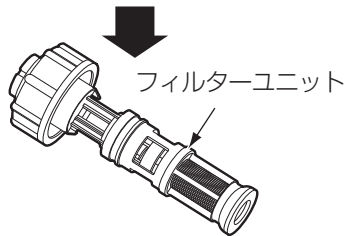
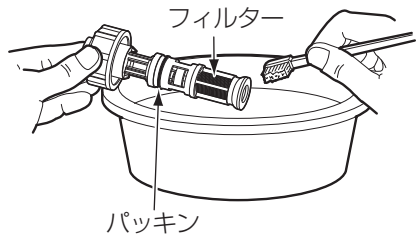
⚠注意

必ず実行

タンクふたは落とさないように注意する
破損してけがをするおそれがあります。

④カバー(A)を手順6-①を参照し、外す。

⑤フィルターを外す。

(1) 左に回してください。
（抜けるまで回してください）
（かたい場合があります。かたい場合は、上部のマイナス形状部分にマイナスドライバーを差して回してください）

(2)引き抜いてください。

⑥フィルターの外側を掃除する。

※パッキンを傷付けないようにごみを取り除いてください。

⑦フィルターをつける。

掃除後は、逆の手順でフィルターをつけてください。
フィルターは最後までしっかり締め付けてください。
※工具を使用しないでください。

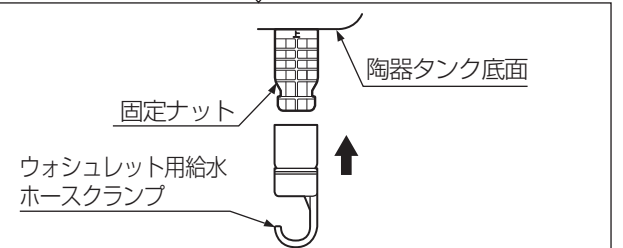
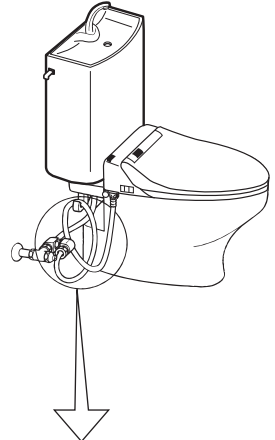
⑧作動の確認。

手洗い連結管を手でふさいでから（手洗い付きロータンクの場合）止水栓を開き、正常に作動するか確認してください。

10 陶器表面の確認

- 陶器表面に傷などがないことを確認してください。
  陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
  スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。
- 施工したあとは、タンクふたなどに油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。

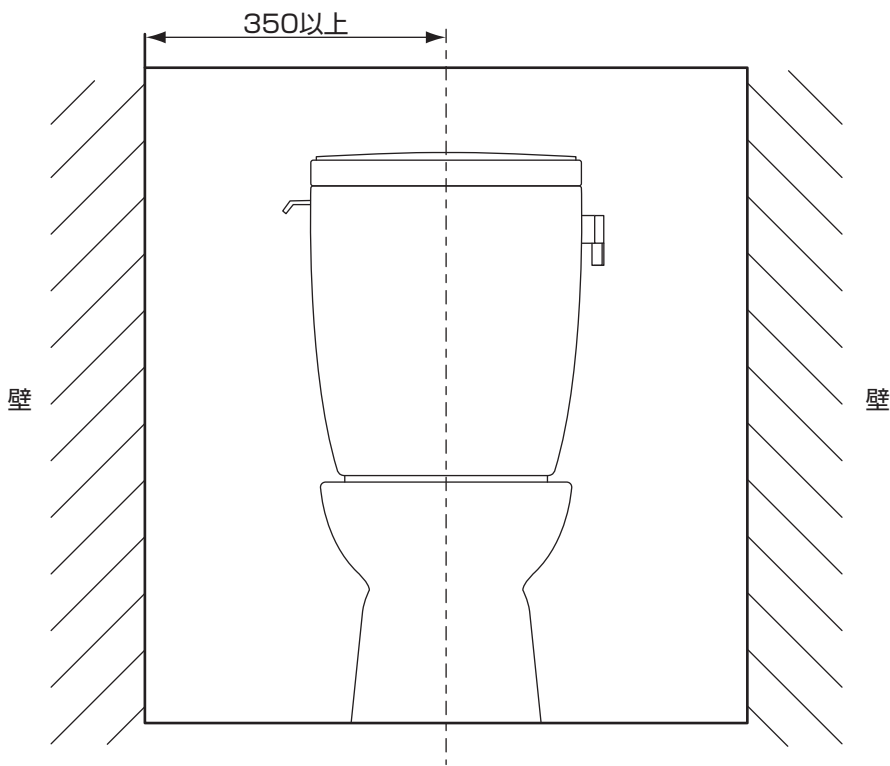
11 ウォシュレット用給水ホースクランプの取り付け（ウォシュレットが取り付く場合）

ウォシュレット用給水ホースの納まりがよくないときなどは下図のように使用する。

ウォシュレット用給水ホースクランプを固定ナットにはめ込みます。その後、ウォシュレット用給水ホースを引っ掛けてください。

流動仕様施工時の注意点

<流動仕様の場合>

注 意

陶器中心から壁まで最低350mm以上確保すること。
流動レバーが操作できない可能性があります。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※BL品（BLマーク証紙貼り付け品）において、当社が定める施工説明書などに基づく据付工事の瑕疵には（一財）ベターリビングのBL保険が利用できます。
保険の詳細・お問い合わせは、下記ホームページをご覧ください。
（一財）ベターリビング　ホームページ…http://www.cbl.or.jp/
電話番号…03－5211－0559